

# たか、し

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

## 図画工作の力

校長 加納 直樹

小学生の頃、図工が大好きな教科でした。何かを作るという約束はあるけれど、その中でなら自由な発想が認められ、思いのままに表現することができる自分が自分には合っていたのだらうと思います。図工の先生がちょっと変わっていたおじいちゃんの先生で、おもしろくて、最初に説明した後は、「好きなように自分で考えて自由にやりなさい。」という指導でした。その先生から教わったことは何一つ憶えていませんが、図工の時間は楽しく、いくつかの作品は今でも思い出せます。

どうしてこんなことを思い出したかという、先月26日から28日までの3日間、高井戸第四小学校で展覧会が開催されました。体育館に一步入るとそこは「宝石箱やああ!!!」まさに、今年の展覧会のテーマ「高四ワンダーランド」にふさわしく、普段はバスケットボールや跳び箱運動をしている体育館がワンダーランドという夢の世界に変わっていました。そこに展示されている子供たち一人一人の作品をよく見て回っていると、子供ガイドの高学年児童が作品について、丁寧に分かりやすく解説してくれるので、あっという間に時間が経ちました。

代表委員の児童が中心となって、子供たちみんなが考えた展覧会のスローガンは「クリエイティブ・ドリーム」…(僕たち私たちの夢を創り出そう!)というものでした。高四小の子供たちはそのスローガンの通りみんな張り切って創作活動に取り組んでいました。子供たちの作品を通して、どれだけ楽しんで、真剣に作り上げたかは、不思議と伝わってくるものです。芸術のうまい・下手は私たちにはわかりません。だから絶対に頑張った友達の作品に下手だなんて言うてはいけないと思っています。私はみんなの描いた絵に、創り上げた図工・家庭科の作品のどれも、夢があふれていて素敵だなと思いました。図工や家庭科の得意な人も苦手な人も、自慢はしなくていいけれど、自分の作品をダメだなんて思わずに、楽しく作品作りをしてほしい。楽しんで、一生懸命作品作りに取り組めたら、それは世界に一つだけの素晴らしい作品です。

子供たちの作品には、その年代のその時期にしか表現することのできない何かがつまっています。自分が作った作品はいつか遠い未来、今を思い起こすきっかけとなるかもしれません。数多く作ることになる作品の中にひとつでも「ずっと残るもの」ができればすてきだと思います。田島先生の図工の時間は最高に楽しいです。これからも子供たちが楽しみつつ、残したいと思えるものが生まれるような図工の時間であってほしいと思っています。



# 2月の行事

日	曜	行事予定	遊ぼう会	校庭開放
1	水	あいさつパワーアップ始		【開】 15:30～
2	木			
3	金	自転車安全教室 (3年) SC		
4	土	土曜授業 (神明中との交流活動) あいさつパワーアップ運動終		【開】 13:00～
6	月	委員会活動 (6校時) (1年～4年は5時間授業)		
7	火	たてわり班活動		
8	水			【開】 15:00～
9	木	安全指導		
10	金	理科出前授業(4年) SC		
13	月			
14	火	新1年生 保護者会 (14:00～)		
15	水	クラブ活動 (クラブ見学)		【開】 15:00～
16	木			
17	金		CS、SC	
20	月	5・6年生スポーツ大会		
21	火			
22	水	クラブ活動 (最終)		【開】 15:00～
24	金	6年生を送る会 SC		
27	月			
28	火	幼保小交流 (1年)		

\*予告なしの避難訓練があります。

【遊】「遊ぼう会」2月はありません。

【開】「校庭開放」13:00(15:00)～16:00

SC来校日 2/3(金) 10(金) 17(金) 24(金)

CS学校運営協議会 2/17(金)

## 2月の生活目標

～進んで働こう～

生活指導担当

クラスの係や当番、委員会活動、掃除などを「言われてやる」時の気持ちと、「自分で気付いて」「自分から進んで」仕事をするときの気持ちを比べると、後者のほうが清々しく「やってよかった」という気持ちになると思います。仕事の内容も自分で進んで働くときのほうがいい仕事ができていることが多いと思います。

自分が何かの役に立つと実感できることを一つ一つ重ねていくことで、社会に出て堂々と行動できる人に成長できると思います。

進んで行動する姿を認めてあげられる目線を大人も子供も互いにもち、気持ちの良い生活を送れるようにしたいものです。



## 算数少人数授業について

算数少人数担当

高四小では、習熟度別にクラスを編成し、算数の少人数学習を行っています。どのコースでも学習の着地点は同じですが、少し難しい課題に挑戦したり、自力解決の時間を多く確保したり、そこへ行きつくまでの過程に違いがあります。コースは、プレテストの結果、自分の希望をもとに決定します。学年が上がるに連れて、適切にコースを選択することができるようになってきます。自分のことを客観的に捉えることができるようになってきている証です。

算数の学習では、どのコースでも自分の考えをもち、それを説明し、全体で共有するという大まかな流れがあります。「子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成することができるようにする」という大きな目標を具現化するためにも、学習の中で自分の考えをもち、友達と意見を交流し、自分の考えと比較するということを大切にしています。

友達と交流するときに活用しているのが少人数での話し合い活動です。全体の前での発表が苦手な児童もペアや3・4人で話し合う活動を積み重ねていくうちに自分の考えを伝えられるようになってきます。また、最近はICTを活用して考えを共有することができ、より考えを広げたり深めたりすることができるようになってきました。相手に伝えて分かってもらえたことや、相手の考えを聞いて「なるほど」と思った経験が子供たちの成長には欠かせません。算数の時間だけでなく、友達と考えを共有する時間を大切にしていきたいです。